

「ESDを推進しよう」

持続可能な未来のために



G8サミットに向けて アジアの仲間たちが提言

G8 北海道洞爺湖サミットへの提言

「持続可能な社会へのメカニズムづくりを」

G8サミット各国は、「持続可能な世界の建設」を国家運営の最優先課題としてください。国内外における明快な政策方針（ビジョン）を作成しましょう。

G8サミット各国は、持続可能な社会に向け、実施時期を明確にした効果的なアクションプランを作って、着実に実施しましょう。

G8サミット各国は、気候変動などの諸課題に取り組むと同時に、各課題に関する教育を幅広く展開しましょう。

G8サミット各国は、企業・市民・政府などが持続可能な社会づくりのために話し合う場を設け、共同した取り組みを進めましょう。

提言の詳細な内容はウェブサイトをご覧ください
<http://www.esd-j.org/archives/000653.html>

G8への提言に関する詳しい情報は

持続可能な開発のための教育の10年推進会議 (ESD-J)

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山B2F
<http://www.esd-j.org> 03-3797-7227 FAX:03-6277-7554

*このパンフレットは平成20年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて作成しました。



持続可能な開発のための教育の10年推進会議 (ESD-J)

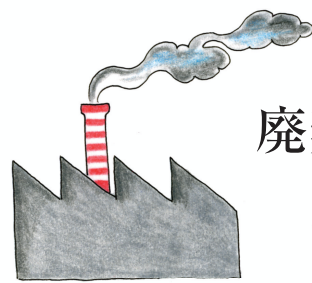


グローバル
エコノミー

生物多様性

多文化共生

異文化衝突

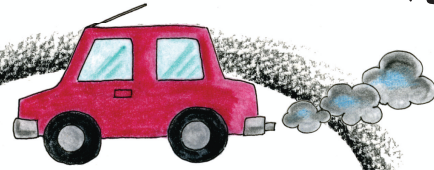


廃棄物問題

石油高騰

地球資源の
乱用

気候変動



食糧危機



貧富格差

人権侵害

開発・平和



資源紛争

人種差別

貧困

男女共同参画

福祉問題

気候変動や食料危機などが大きな討議課題のG8サミットに向けて、アジアで持続可能な社会づくりに取り組む市民団体がメッセージを作りました。

稲作に象徴される、地域に根ざしたアジアの暮らしの中には、持続可能な社会づくりに向けた貴重なヒントが数多く潜んでいます。

市民相互の、地域相互の学び合いは、持続可能な社会づくりのために貴重な価値を持っています。

「各課題を包み込む包括的・横断的な教育を展開しましょう」

ESD

Education for Sustainable Development (持続可能な開発のための教育)

持続可能な開発を通じて全ての人々が安心して暮らせる未来を実現するには、わたしたち一人ひとりが、互いに協力し合いながら、さまざまな課題に力を合わせて取り組んでいくことが必要です。そうした未来へ向けた取組みに必要な力や考え方を人々が学び育むこと、それが「持続可能な開発のための教育=ESD(イー・エス・ディー)」なのです。

ESDは、学校だけでなく、地域や社会のあらゆる場で誰もが取り組むべき学習です。また、ESDは、各地域や個人の実情に合わせたかたちで行われることが何よりも大切です。既に国内外の各地で、様々なESDが実践されています。今後、優れたESDがさらに広がり、持続可能な開発が実現できるかどうかは、未来を創る主役であるわたしたち一人ひとり次第なのです。

